



# 星に願いを



ojinpowe

## 星にねがいを

---

いやし・くやしきさ・きぼう

わたしたちは

進化してきた

さらに変化しようとしています

しかし

おおきな障害があります

果てしない欲望です

経済は果てしなく益々巨大化し

社会はグローバル化へと屈曲しました

巨大化したマーケットに

生産力の拡大は

この地球の地上から

恵みの全てを飽食の溝になげいれ

自然界に無い物までも

増産し続けたした結果

自分の首を真綿で締め付けるように

苦し見続けます

一握りの欲望の塊が

均等に世界の人へ、一人ひとりに

望まないのに強制的に分配されてきます

私たちは汚れのない

純粋なころでした

美しい自然に囲まれて

愛する人との人生を

輝かしい未来へ

ささやかな希望をもって

生きていました

いま、一握りの亡者のために

完全に崩壊しようとしています

信じる事は、自分の意思しか無いのかも知れません

神は私たちを見捨てたのでしょうか

それでは

自分の意思や心を強くして

この現実に向かかって

歯をくいしばるしかない

その内に

きっと  
光が射し込み  
力強い力で  
私たちを  
引っ張って行ってくれる  
きっと  
それまで  
夜空の星に  
願いを祈ろうかな  
続き  
清らかな心に  
知らないうちに侵入してきた  
煩悩とかという怪物  
いつの間にか  
清き純白だった心は  
薄汚れた灰色に腐敗していく  
どうするんだ  
もう、物質社会からとびだそう  
本物の人間になるのだよ  
見えない危険なものからの汚染を避けて  
永遠の種の存続を  
勝ち取らなければ  
人が絶滅危惧種になってしまう  
twitter facebook sns  
情報が優先した社会  
IT革命の本質は  
薄っぺらな人間関係の構築と  
悲しい絆の発見かもしれない  
生存に必要な最小限の  
衣食住で事足りるはずなのに

美しい精神社会は  
現代の全ての物の汚染を  
完全に浄化しなくては  
そうです  
塵ひとつもなのです  
こつこつと

一つ一つを毎日毎日  
全ての人が心と  
向かう道と同じにして  
血の出るような苦しみと悲しみを  
乗り越えられた時  
その時  
全ての煩悩が人々から消滅し  
やさしく  
全能の神が迎えてくれる  
ことを きっと  
それは、夜空に輝く星が  
もっときれいに  
私たちを歓迎してくれる  
これは、間違いない  
楽しみです  
まず、お互いの  
眼と眼で  
このことを意識すること  
心が一つになる  
これがまず最初の一步

---

簡素に生きる  
いま、私たちは  
家電製品や家具  
調理器具や宝飾品  
全く着ていない被服  
冷蔵庫にある無駄な冷凍食品  
こうしたものを放棄してみよう  
勿論、携帯電話やパソコンも  
馴染んだ家電や調理器具を  
使用しないで生活は  
現代人には  
とても困難です  
ひとつ一つを目標に  
目の前の物から  
無くしていく  
同時に気になるのが  
主婦の場合は

家事で  
生活と同時に  
否が応でも離れない  
その内で  
特に不必要なのが見栄で  
虚栄でしかない事象  
しがらみが  
社会生活にへばりつく  
これらを追い出して  
精神的な自由な時間と空間を  
一時だけ  
1週間のうち1日だけ  
いや1年の内、1日から始めて  
一人ぼっちで  
空想に浸り  
庭のあじさいを眺め  
幾時間か対話してみる  
勿論電話にも出ない  
テレビは見ない  
ラジオの音楽も流れない  
全くコノウエナイ  
時間と空間の  
充実した経過は  
満腹にしてしまう  
心のゆとりと  
とんでもない空想の誘い  
目を閉じれば  
いつの間にか  
旅行に出かけていた  
まだ、子供の私が  
貸切バスに飛び乗り  
バスガイドのきれいなお姉さんに  
食い入りそうに見ていた  
心がうきうきとして  
楽しくてたまらない  
ガイドのお姉さんの独特の  
アナウンスと楽しみの弁当  
手に取るように再現されていた

どこにバスは行くのか  
全く不明ですが  
車窓の雰囲気や  
おにぎりのおいしさが  
たまらなくて  
目が覚めたら  
もう辺りは夕闇が訪れて  
急におなかが空いていたことに  
気がつく  
不自由なことこの上ない  
この時間が

-----  
続き その後の続き  
私たちは  
先人が残した  
貴重な教訓や教示を  
すっかり忘れています  
いや、その事が存在していた  
ことも  
全く知らなかったんです  
それでも生きていくことが  
簡単に出来たんです  
どうして  
何のために人類は生きているんだろう  
敢えて疑問を投げかけてみると  
ぶんぶん蠅と一緒に生き方と同じ  
ありんこと一緒でしょうか  
明確な回答は得られません  
二足歩行を始めた  
ホモサピエンスは  
物事をすこしづつ考えて行動して  
必死に命をつなぐため  
糧を求めて  
そして  
生き延びてきた  
いま、生きるために知恵を  
全く使わないでも

死ぬことはないのです  
社会があり  
法律があり  
治安があるので  
コンビニエンスがあるので  
つい、知恵を使わない  
安易に感性のみで  
生きているのです  
グルメとファッション  
DVDとコンサート  
尽きないエンジョイ生活  
これでいいんでしょうか  
先人は退廃した  
現代のこの生活や  
価値観の変化に  
驚嘆してしまうでしょう  
ソクラテスも号泣しているかも  
聖人君子にならなくても  
本当の人間になりたい  
自分をはっきりと認識でき  
分別をはっきりと出来て  
正しい価値観をもち  
毎日のささやかな  
出来事のなかに  
ちょぴり輝かしい  
人生の糧を見つけ  
気の置けない友人や仲間と  
見えない強い絆を  
いつまでも  
持ち続けること  
そして  
みんなで見えたら  
しっかりと  
願い事を込めて  
祈ろう  
これでいい  
明日は  
きっといい日

そして、

希望がやってきますようにと